

「第2期蒲郡市地域福祉計画」ができました！

～がまごおりの福祉は、市民みんなで支える、つくる！～

福祉課

「地域福祉」とは、“ともに支え合い、助け合う地域社会を基盤とした福祉”のことで、「互助・共助」の力で、地域住民における生活上のさまざまな悩みや困りごとを解決するためのもので、「地域福祉計画」は、この地域福祉を推進するための計画です。

このたび、第1期計画を見直し、第2期計画（平成28年度～32年度）を策定しました。

計画ができあがるまでの経過

この計画は、市民や福祉に関係する団体などを対象に、次の調査やシンポジウムを開催し、多くの市民や関係者の参加で作り上げたものです。

市民の意見の把握

平成26年度 市民アンケート調査

18歳以上の市民2,000人のうち、708人から回答を得て、地域活動やボランティア活動などの参加の状況や今後の意向を把握しました。

関係団体等の意見の把握

平成26年度 関係団体等アンケート調査及 びインタビュー調査

福祉関係団体や小中学校のうち、アンケートは66団体から回答を得て、インタビューは22団体を対象に、地域福祉の推進のための課題を把握しました。

地域活動の周知・意見交換

平成27年度 住民シンポジウム

蒲郡市市民会館東ホールにて、「地域の福祉ニーズと地域活動の促進」に関する講演と、シンポジウム（市内の地域活動の先進的活動の紹介、活動ノウハウ等の内容で対談）を開催し、120人の市民等の参加がありました。

第2期蒲郡市地域福祉計画

住民シンポジウムの参加者の声



- ★蒲郡市内で行われているボランティアの内容がとても分かりやすかった。自分が住んでいる市内で孤独死などがあっては本当に残念だと思う。少しの声かけから自分も始められるといいと思った。
- ★私もボランティアになれて、人助けできればうれしい。晩年を有意義に過ごしたい。役に立つでしょうか。
- ★福祉と言われると、福祉が今必要な人しか関心を持ってないので、地域福祉という言葉はいいと思う。普段から行われていることを知る機会がもっとあればよいと思う。シンポジウムに出ないと分からないし、仕事で地域にいないし、休日も出かけたりして、地域のことを知る機会がない。
- ★いきいきサロンの活動を紹介できるとよかったかもしれない。次回は、テーマに地域の居場所づくりを加えてほしい。
- ★自分にできることから、地域の力になればと強く思った。

計画のポイント

1 計画の理念は？

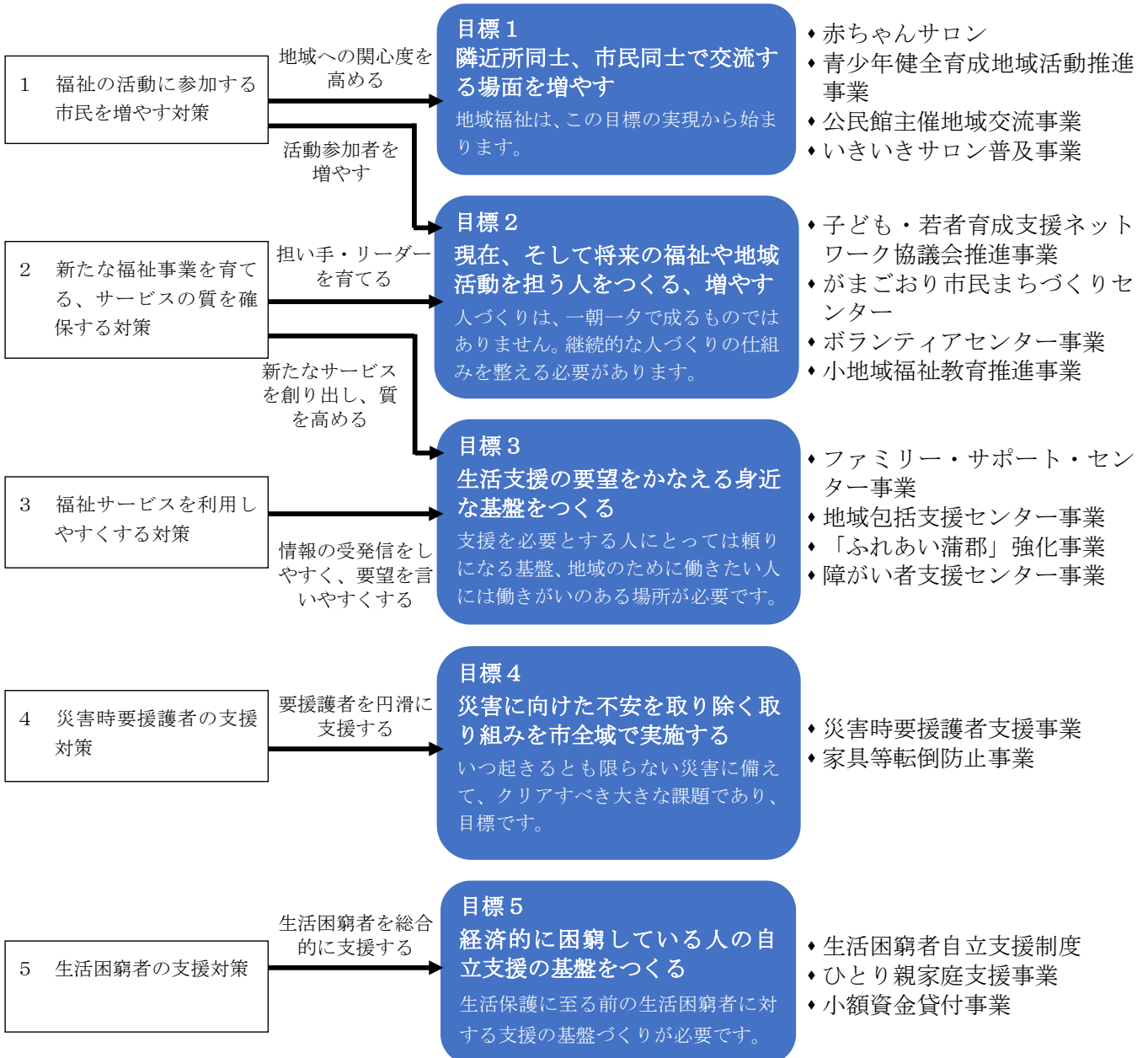
「がまごおりの福祉は、市民みんなで支える、つくる！」

地域福祉は、市民や福祉関係者、行政が連携・協働して、市の昔からの仕組みを見直したり、事業や活動を創り出すような、『互助・共助＝地域力』の力を高めるものです。

第2期は第1期の理念を継承し、『互助・共助＝地域力』の拡大を目指します。

2 計画の目標と市や社会福祉協議会の主な事業は？

実施事業例



3 どのように計画を周知する？ 進み具合を評価する仕組みは？

計画は、本編と概要版を市のホームページ等で公表します。

計画の進み具合の評価は、計画担当者と連絡会議を毎年度開催し、評価を実施します。また、評価結果は、市のホームページで公表します。